

平成30年度事業評価 課別評価シート

【福祉部 生活福祉課】

[子育て支援]

[生活福祉]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方（例）
 - ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
 - ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
 - ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
 - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
 - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
 - 新規事業の必要性
 - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
 - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
 - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
 - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

【子育て支援】

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.2 |
| 2 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.3 |
| 3 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.4 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【福祉部 生活福祉課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【子育て支援】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム (B)
子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

中間アウトカム (C)
子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

基本構想実施計画事業		
①	母子生活支援施設保護事業	再掲 生活福祉
	子ども家庭相談事業	子家セ
	児童虐待防止対策事業	子家セ
	児童相談所設置に向けた検討	子家セ
	乳幼児家庭支援保健事業	保健サ
	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト	教育セ他
	子どもの貧困対策	子育て支援他

基本構想実施計画事業		
①	母子家庭等自立支援事業	生活福祉
	子ども家庭相談事業	再掲 子家セ
	親子ひろば事業	再掲 子家セ
	家庭教育支援の推進	教育総務
	子育てひろば事業	再掲 子育て支援他
	子育て情報提供事業	子育て支援
	地域団体による地域子育て支援拠点事業	再掲 子育て支援
	地域子育てステーション	再掲 幼児保育
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サ
	文京区版ネウボラ事業	再掲 保健サ
	子どもの貧困対策	再掲 子育て支援他

2 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【福祉部 生活福祉課】

【子育て支援】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（生活福祉課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (B) **子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
③	母子生活支援施設保護事業	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている
※「2-3 生活福祉」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。		

No.	事業名	事業目的
他課	子ども家庭相談事業	児童虐待が予防されている
他課	児童虐待防止対策事業	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている
他課	児童相談所設置に向けた検討	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される
他課	乳幼児家庭支援保健事業	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている
他課	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている
他課	子どもの貧困対策	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (B) **子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している**

課題等を有する計画事業の有無

無

3 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【福祉部 生活福祉課】

【子育て支援】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（生活福祉課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (C) 子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	母子家庭等自立支援事業		母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	教育訓練給付金	人	5			5	15
	高等職業訓練促進給付金等	人	6			6	45
事業費(千円)			5,569				
行政コスト(千円)			11,552				
所要人員			1,138				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名	事業目的
他課	子ども家庭相談事業	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている
他課	親子ひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	家庭教育支援の推進	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている
他課	子育てひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	子育て情報提供事業	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている
他課	地域団体による地域子育て支援拠点事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	地域子育てステーション	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている
他課	文京区版ネウボラ事業	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している
他課	子どもの貧困対策	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム(C)	子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している
課題等を有する計画事業の有無	無

【生活福祉】

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.7 |
| 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.8 |
| 3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.10 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【福祉部 生活福祉課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【生活福祉】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	2-3 生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち

中間アウトカム (A)
生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている

中間アウトカム (B)
だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている

基本構想実施計画事業	
① 母子家庭等自立支援事業	再掲 生活福祉
② 生活保護受給者就労意欲喚起支援事業	生活福祉
③ 生活困窮者自立支援総合相談事業	生活福祉
④ 路上生活者対策事業	生活福祉
⑤ 母子生活支援施設保護事業	生活福祉
⑥ 女性・母子父子相談体制の充実	再掲 生活福祉
子どもの貧困対策	再掲 子育て支援他
小地域福祉活動の推進	再掲 福祉政策

基本構想実施計画事業	
① 母子生活支援施設保護事業	再掲 生活福祉
② 女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉
③ 母子・女性緊急一時保護事業	生活福祉
男女平等参画の推進	再掲 総務

2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【福祉部 生活福祉課】

【生活福祉】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（生活福祉課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (A) 生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	母子家庭等自立支援事業	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している
※「1-1 子育て支援」の「中間アウトカム(C)」に実施状況が記載されます。		

② 生活保護受給者就労意欲喚起支援事業				H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	支援対象者のうち、就労や増収した人の割合	%		35.7				36.0
	事業費(千円)			13,756				
	行政コスト(千円)			15,236				
	所要人員			0.165				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載						

③ 生活困窮者自立支援総合相談事業				H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	事業利用者のうち、就労や増収した人の割合	%		47.8				46.5
	事業費(千円)			21,673				
	行政コスト(千円)			24,141				
	所要人員			0.275				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載						

No.	事業名	事業目的				
④	路上生活者対策事業	路上生活者が社会生活に向けた取り組みを行うことで、生活環境が向上している				
		H29 H30 H31 累計 3カ年計画				
主な取組	自立支援センター入所者のうち、新たに就労に結び付いた人の割合	% 80.0				66.6
事業費(千円)		2,509				
行政コスト(千円)		3,845				
所要人員		0.218				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名	事業目的				
⑤	母子生活支援施設保護事業	施設での支援を受けて、自立に向けた生活を送っている				
		H29 H30 H31 累計 3カ年計画				
主な取組	母子生活支援施設保護事業	世帯人員 73 151				延べ288 延べ384
事業費(千円)		31,757				
行政コスト(千円)		34,022				
所要人員		0.445				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名	事業目的
⑥	女性・母子父子相談体制の充実	母子・父子家庭が、自立した生活に向けた相談援助を受けている
※「2-3 生活福祉」の「中間アウトカム(B)」に実施状況が記載されます。		

No.	事業名	事業目的
他課	子どもの貧困対策	経済的困窮にある子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して生活している
他課	小地域福祉活動の推進	生活困窮者が、地域で孤立することなく安心して暮らしている

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A)	生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている
課題等を有する計画事業の有無	無

3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【福祉部 生活福祉課】

【生活福祉】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（生活福祉課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (B) **だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	母子生活支援施設保護事業	DV等がある母子家庭が施設での支援を受けて安全に生活を送っている
※「2-3 生活福祉」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。		

② 女性・母子父子相談体制の充実		DV被害者等が、適宜適切な相談援助を受けている					
		H29	H30	H31	累計	3力年計画	
主な取組	女性相談件数	件	6,329			6,329	17,100
	母子父子相談件数	件	1,129			1,129	5,400
事業費(千円)			10,076				
行政コスト(千円)			9,280				
所要人員			1,299				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

③ 母子・女性緊急一時保護事業		配偶者等からの暴力被害から避難し、保護を受けている					
		H29	H30	H31	累計	3力年計画	
主な取組	母子生活支援施設等保護	件	96			96	延べ90
	ホテル等保護	件	8			8	延べ60
事業費(千円)			463				
行政コスト(千円)			3,221				
所要人員			0,531				
進捗の課題	有	DVや家庭関係及び本人の精神疾患の状況を勘案し、他支援機関利用の可能性や生活保護申請について検討を行いました。適切な支援機関につなげず保護が長期に渡ってしまいました。今後複雑な背景を持つ利用者の保護を実施する場合は従前のアセスメントに加え、組織的検討に基づき支援を行っていくこととします。					

No.	事業名	事業目的
他課	男女平等参画の推進	配偶者等からの暴力が防止されている

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (B)	だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている	
課題等を有する計画事業の有無	有	

事業名 及び 事業目的	母子・女性緊急一時保護事業 配偶者等からの暴力被害から避難し、保護を受けている	方向性 の類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	DV避難で支援を行った利用者について、家族関係の調整や利用者自身の心身不調の影響から保護が長期に渡りました。また、平成29年度全体の利用件数が過去3年間平均より約2割増した状況でした。今後、複雑な背景を持つ利用者の保護を実施する場合は従前のアセスメントに加え、組織的検討に基づき支援を行っていくこととします。		

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分